

高田高校 SSH 通信

第 58 号

新潟県立高田高校 SSH 部

令和 5 年 3 月 20 日

2 学年理数科 課題研究中間発表会

1 月 10 日（火）に 2 年生理数科の課題研究中間発表会が行われました。今期の理数科は、サイエンスコース生 25 名が数学分野 2 テーマ、物理分野 2 テーマ、化学分野 3 テーマ、生物分野 3 テーマに分かれてのグループ研究を行い、メディカルコース生 13 名は個人研究を行っています。当日は、外部から運営指導委員の皆様、県立教育センター指導主事の先生方、上越市内医療関係者など 10 名の評価者をお招きして、ポスター発表形式で研究成果を発表しました。また、2 年生普通科の生徒も聴衆として参加し活発な質疑応答が行われました。

サイエンスコース生は、昨年 7 月下旬にテーマ発表会を行い、その後本格的な実験・研究に取り組んでいますが、例年と同様、テーマ設定に多くの時間を要したため、思うように研究、実験が進まず、中間発表会までの期間ではやや実験データが不足していたり、考察の甘さが見られるグループもいくつか見られました。しかし、ポスター発表後のリフレクションでは、専門分野の先生方から多くのご指摘やアドバイスをいただき、今後の研究の方向性を明確にすることができました。

また、メディカルコース生は、外部評価者としておいでいただいた上越総合病院・大堀高志医師より丁寧なご指導をいただき、医療分野における知見を広げることができました。

理数科 2 年生は、今後さらに研究を深め、新年度 4 月 24 日に予定されている本発表会に臨みます。



1 学年普通科 MC 探究Ⅰ クラス発表会 学年発表会

「自分が主役になり、自分が考案・企画したアイデアで社会貢献をする」というテーマに基づき、一人一人が他社貢献や地域貢献に取り組み、その成果をクラス内発表会で一人一人が発表、各クラス代表2名が学年発表会で成果を報告しました。

「万引き防止ポスター」を店舗に掲載し、ポスター掲載期間は万引きがゼロになったという報告や、小学校の学習支援のために教材を作成し、それを利用した小学生にアンケートしたところ、理解度や満足度が非常に高く嬉しかったという報告等、多種多様な活動が報告されました。1つ1つの報告に対する聴く側の関心も高く、質疑応答も盛り上がり、実りある時間になりました。

社会貢献活動を通じて本当に多くの生徒が地域の方々から「ありがとう」をもらうことができ、自分でテーマを設定して自律的に行動する力も高まりました。昨年度までとは異なる新しい取り組みでしたが、しっかりと生徒個々の成長につながる探究活動になり、大成功でした。

